

5 事業別進捗状況

(1) 基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

1-(1) 子どもと親の健康の確保・増進

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 母子保健地域組織育成事業	拡充	0	0	0	0	保健推進員の研修会・会議等の場において、母子保健に関する情報提供等を行った。 随時	0	0	B (A B)	平成19年度に妊婦・保健推進員に対し、妊婦訪問に関するアンケート調査を実施したところ、双方とも家庭訪問以外の方式の事業実施を望んでいることがわかり、妊婦訪問は終了となった。今後の推進員の育成・事業の実施について、検討していく。	0	総合保健センター
2 事故防止対策	継続	88	77	47	47	乳幼児の事故防止に関するポスターを作製し、市内保育園に配付した。	41	7	A	乳幼児の事故防止対策については、これまでも様々な機会を通じて啓発活動を実施している。今後もあらゆる機会を通じて、啓発活動を継続していく。	4	総合保健センター
3 乳幼児健診	拡充	23,541	23,541	23,764	23,764	4か月・1歳6か月・3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達の両面から健診を行い、児の健康の保持増進、保護者の育児不安の解消を図った。 ・4か月児健診(年間48回) 受診率 95.4% 該当児 2,714人 受診児 2,589人 ・1歳6か月児健診(48回) 受診率 93.9% 該当児 2,818人 受診児 2,647人 ・3歳児健診(48回) 受診率 89.1% 該当児 2,826人 受診児 2,517人	24,698	24,305	A	これまでに4か月児健診に助産師、1歳6か月児健診に栄養士を新たに導入して、健診時の相談体制の充実を図り、また問診票を改正して育児不安の把握に努め、相談の際に役立ててきた。今後は従事者の研修の受講等資質の向上を図り、よりよい健診体制を確立していくため、検討していく。	24,383	総合保健センター
4 乳幼児相談	拡充	1,286	1,000	1,197	1,124	乳幼児を対象とした相談を実施し、育児不安の解消と保護者同士の情報交換の場を提供する。平成19年度より幼児相談に心理相談員を新たに導入。幼児及び保護者の精神発達面・メンタル面での相談に対応できるようにした。 ・実施回数 30回 来所者数 1,959人 (心理相談員による相談件数(再掲) 29人) また、地域の公民館等からの依頼により、出前相談を実施した。 ・開催延回数 6回 参加者 159組	1,270	1,196	A	定例開催されている乳幼児相談については、今後も引き続き実施。従事者の研修等により、資質の向上を図っていく。依頼による健康相談の実施については、依頼団体の固定化がみられているので、事業の周知を図り、また従事者のマンパワー確保に努めていく。	1,445	総合保健センター
5 母乳育児相談	継続	126	126	210	210	助産師による母乳育児相談を乳幼児相談と同時に実施した。 ・実施回数 18回 相談者数 339人	210	200	A	相談者からは好評であり、母乳育児の推進が図られる事業であるが、担当する助産師の確保が困難であること、相談者についてもピーターが多く見られること、同様の事業が地域の医療機関等で実施されている等問題点も挙げられている。事業継続にあたり検討した結果、平成19年度をもって終了とした。今後は新生児訪問、4か月児健診等で母乳に関する個別的な相談に応じることで、母乳育児の推進を図っていく。	-	総合保健センター
6 電話による健康相談	拡充	894	406	504	504	子どもと母の健康に関する専用ダイヤル「もしも健康相談」の実施の他、不妊・更年期等の女性相談に助産師等が対応した。 ・もしも健康相談 1,198件 ・女性相談 42件 ・その他の電話相談 5,294件	651	651	A	今後も引き続き継続。もしも健康相談・女性相談について、事業の周知・利用者の増加を図っていく。	672	総合保健センター
7 2歳児親子歯科健診	継続	1,432	1,432	1,601	1,507	2歳～2歳6か月児とその保護者を対象に、歯科健診・指導を実施。 ・実施回数 12回 ・受診児数 329人 受診保護者数 252人	1,530	1,490	A	栄養・歯科の両面から生活習慣に関する意識付けをし、更に口腔衛生への意識を高める。今後は対象者への周知を図り、受診者を増やしていく。	1,530	総合保健センター

8	フッ化物塗布・洗口事業	継続	0	0	0	0	歯ッピーフェスティバル、健康まつりの際に、フッ化物塗布・洗口事業を実施した。 ・フッ化物塗布 654人(3歳～12歳) ・フッ化物洗口 427人(小学生以上 一部その保護者等成人含む) また市内公立保育園の4～5歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施(4歳児クラスは6園、5歳児クラスは全園)。また、事業評価等として、カリオスタット検査を行なった。	3,138	3,138	A	フッ化物塗布・洗口事業を通し、ムシ歯予防の意識を高める。 今後は、4歳児クラスの実施を増やし、事業を充実させていく。	3,138	総合保健センター
9	予防接種の接種率向上	拡充	0	0	0	0	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等により、予防接種の接種勧奨を行った。	0	0	A	これまでの勧奨方法を継続するとともに、法改正に伴う予防接種の接種対象者、接種時期等の変更内容を対象となる児の保護者に周知を徹底させるため、個別通知による接種勧奨を実施する。	150	総合保健センター
10	保健推進員による妊婦訪問	拡充	880	742	991	911	訪問を希望する妊婦に対し、保健推進員が訪問を実施した。 ・訪問件数 542件	940	940	B	昨年度、妊婦と保健推進員に対し、事業評価のアンケート調査を実施したところ、妊婦も保健推進員も家庭を訪問する事業ではなく、別の方式の事業としての実施を希望する結果となった。この結果を受け、妊婦訪問は平成19年度をもって終了とし、今後は新しい方式の「妊婦と地域をつなぐ事業」の実施について、検討していく。	-	総合保健センター
11	新生児、産婦訪問指導	拡充	4,211	3,663	4,833	4,681	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師による訪問の実施。 ・産婦訪問指導 914件 ・新生児訪問指導 926件	4,689	3,729	B (A B)	担当する助産師の確保が困難であり、訪問実績が減少している。今後は助産師の確保に努め、また出生連絡票の提出等事業実施について更に周知していく。	5,056	総合保健センター
12	乳幼児訪問指導	拡充	0	0	0	0	訪問による指導が必要な母子に対し、保健師等による訪問指導の実施。 ・妊産婦 190件 乳幼児 227件 その他(保護者等) 171件	95	95	A	対象者が抱える問題点がより複雑化・深刻化しており、担当する保健師等の資質向上、人材確保が必要である。今後、人材の確保に努め、また研修会の参加、講師を招いた事例検討会の実施等、従事者の資質向上を図る。	87	総合保健センター
13	不妊に対する支援	継続	8,495	7,261	8,480	8,466	特定不妊治療費の助成(平成19年度より助成期間を2年から5年に拡大) ・交付件数 200件 不妊専門相談センターでの専門相談 ・相談件数 20件	20,569	20,569	A	今後も引き続き継続。不妊専門相談センターについて、事業の周知・利用者の増加を図っていく。	19,286	総合保健センター
14	妊婦健康診査	継続	48,771	46,242	47,917	46,127	・妊婦一般健康診査(1回目) 2,709件 ・妊婦一般健康診査(2回目) 2,571件 ・H B s 抗原検査 2,697件 ・超音波検査 433件 ・H I V 抗体検査 2,690件	47,830	46,797	A	国の通達により、平成20年度より妊婦一般健康診査の公費負担回数を、これまでの2回から5回へ拡大した。今年度は事業拡大に伴い、膨大となった事務に対応するとともに、県や近隣自治体との情報交換を密にし、発生するトラブルに速やかに対応する。また制度の周知を図っていく。	117,832	総合保健センター
15	母親学級・両親学級	拡充	521	519	469	450	妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及、妊娠中の不安の解消及び仲間づくりの場を提供することを目的に、マタニティスクール、プレ・パパママスクールを開催した。 ・マタニティスクール(6コース開催) 延実施回数 12回 延参加人数 186人 ・プレ・パパママスクール 実施回数 6回 参加人数 235人(夫(再掲) 116人)	556	556	A	教室の内容については参加者からは好評であるが、当事業の参加者は、地域の医療機関等で実施される母親学級等に参加し、既に必要な知識を得ている者が大半である事実も確認されている。出産・育児に対する知識が乏しく、本当に受講してもらいたい対象への関わりが十分にできていない現状も考慮して、マタニティスクールについては19年度をもって終了とし、支援が必要な人には個別対応をとることとする。またプレ・パパママスクールについては、地域の医療機関等同様の事業を実施している機関と連携を図り、総合保健センターで行う役割を再考し、今後の教室の内容について検討していく。	377	総合保健センター

16	マタニティ体操	継続	262	115	171	131	妊娠6か月以上の妊婦を対象に、妊婦体操及び呼吸法の指導を実施した。 ・実施回数 12回 延参加者数 171人	166	122	A	参加者からは好評であったが、母親学級同様、参加者の大半が地域の医療機関等で実施されている同様の学級に参加していること、担当する助産師の確保が困難であること等を考慮して、平成19年度をもって終了とした。	-	総合保健センター
17	マタニティクッキング	継続	146	112	159	114	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的として、調理実習・講話を行なった。 実施回数 12回 延参加者数 96人	120	102	A	調理実習を通して、妊娠中とその後の食生活を習得してもらおう。また、栄養・歯科の両面から、講話を行なうことで、内容の充実を図る。	161	総合保健センター
18	妊婦歯科健診	継続	588	588	613	613	妊娠5か月以上の妊婦を対象に、歯科健診と歯みがき指導を実施。 実施回数 12回 参加者数 158人	616	616	A	妊娠中に起きやすい歯科疾患の予防、歯科保健に対する意識の高揚を図る。今後は、対象者への周知を図り、受診者を増やしていく。	608	総合保健センター
19	母子栄養食品の支給	継続	224	149	232	120	低所得世帯の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行った。 ・妊産婦 2人 乳児 13人	245	195	A	昨年度に引続き、低所得世帯の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行う。	235	総合保健センター
20	のびのび子育て広場	継続	-	-	-	-	17年度をもって終了	-	-	E	終了	-	総合保健センター
21	離乳食教室	継続	191	191	241	159	離乳食の初期と中期にそれぞれ教室を開催し、離乳食の講話・試食を行った。 ・初期 実施回数 12回 参加人数 289組 ・中期 実施回数 12回 参加人数 185組	195	154	A	今後も引続き開催し、離乳食について、知識の普及啓発を行い、不安の解消を図っていく。	203	総合保健センター
22	おやつと歯みがき教室	継続	112	104	157	127	2歳6か月～4歳未満児とその保護者を対象に、おやつ作りの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図った。また口腔内の手入れの仕方について指導を行った。 ・実施回数 12回 参加延人数 158組	152	101	A	公民館での実施や、異なる年齢を対象とする教室の機会を設ける等、内容の充実を図る。	141	総合保健センター
23	育児関連講座等への協力	拡充	60	28	78	42	公民館、児童館、子育てサークル等からの依頼により、保健師・栄養士・歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容での講義、実習等を実施した。 ・実施回数 32回 参加延人数 1,078人	50	50	A	今後も継続して実施。依頼団体の固定化がみられているので、事業の周知を図り、また従事者のマンパワー確保に努めていく。	63	総合保健センター
24	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	89	0	201	52	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導の実施。 ・実人数 43人 延人数 48人	183	9	A	対象者が抱える問題点がより複雑化・深刻化しており、担当する保健師等の資質向上、人材確保が必要である。今後、人材の確保に努め、また研修会の参加、講師を招いた事例検討会の実施等、従事者の資質向上を図る。	105	総合保健センター

25	ひよこ教室・ひよこサロン	継続	105	32	138	83	ひよこ教室(未熟児及びその保護者を対象とした教室) ・実施回数 2回 参加延人数 32組(66人) ひよこサロン(小さく生まれた子どもを持つ親の会) ・実施回数12回 参加延人数 103組(222人)	108	107	A	ひよこサロンの延参加人数は、年々増えてきている。今後も継続して実施し、内容について参加者の意見を取り入れる等、充実を図る。	141	総合保健センター
26	ダウン症児を持つ親の会	継続	69	60	83	10	いもっこの会の開催 ・実施回数 11回 ・参加延人数 88組	128	0	A	今後も継続して実施し、内容について参加者の意見を取り入れる等、充実を図る。	43	総合保健センター
27	食物アレルギーの子どもをもつ親の会	継続	0	0	69	33	ポップサークルの開催 ・実施回数 12回 ・参加延人数 97組	108	0	A	今後も継続して実施し、内容について参加者の意見を取り入れる等、充実を図る。	33	総合保健センター
28	すくすくクリニック	継続	489	449	493	465	未熟児及び主に4か月児健診等で発育・発達に遅れがみられる概ね1歳までの子どもを対象に、診察・相談を実施。 ・実施回数 12回 受診者数 53人	487	470	A	今後も継続して実施し、内容について充実を図る。	485	総合保健センター
29	発育・発達クリニック	拡充	969	957	973	957	乳幼児健診・相談等で成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 ・実施回数 12回 受診者数 76人	1,135	1,060	A	今後も継続して実施し、内容について充実を図る。	1,070	総合保健センター
30	こどもの心の健康相談 子どものこころの健康相談に漢字訂正	拡充	960	943	973	963	乳幼児健診・相談等で心の健康に心配がある乳幼児等を対象に、診察・発達テスト・相談を実施。 ・実施回数 12回 受診者数 52人	1,135	1,051	A	今後も継続して実施し、内容について充実を図る。	1,065	総合保健センター
31	多胎児をもつ親の会	継続	84	0	63	0	ハッピーエンジェルの開催 ・実施回数 24回 ・参加延人数 291組	75	0	A	今後も継続して実施し、内容について参加者の意見を取り入れる等、充実を図る。	0	総合保健センター
32	子ども医療費の助成 (平成17年度は乳幼児医療費の助成)	拡充	647,328	587,367	651,883	606,668	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 支給件数 292,897件 支給額 558,716千円	621,703	593,117	A	こどもが必要とする医療を容易に受けられるようにし、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給する。 支給予定件数 317,558件 支給予定額 513,064千円	549,417	医療助成課

1-(2)「食育」の推進

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度 of 取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額				予算額	決算額		
1 幼稚園・保育所等における指導	拡充	0	0	0	0	0	0	0	0	A	市立保育園において、健全な成長発達を目指し、食事の楽しさ大切さについて栄養教育を行う。 公立保育園20園 各6回	0	保育課	
2 小・中学校への指導	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	A	小学校2年生に対する食に関する指導 190回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 27回 各種広報誌の発行 6回	0	給食センター	
		0	0	0	0	0	0	0	0	A	学校教育全体をとおした体系的、継続的な食に関する指導の実践。	0	教育指導課	
		0	0	0	0	0	0	0	0	A	学校栄養職員の研修会を実施する。 1回 17名	0	学校管理課	
3 地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	0	0	0	0	0	0	0	0	A	地場農産物の学校給食への利用 地場農産物を利用した料理教室 地場農産物に関する食育資料提供 地場産業の見学	0	給食センター	
4 情報発信活動	拡充	0	0	0	0	0	0	0	0	A	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に、食生活改善習慣のポスター掲示等を実施した。	0	総合保健センター	
5 乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充	-	-	-	-	-	-	-	-	B	1歳6か月児健診や乳幼児相談の際に、栄養士による個別相談を実施した。 ・1歳6か月児健診栄養相談 154人 ・乳幼児相談栄養相談 265人	-	総合保健センター	
6 食生活改善推進員協議会の活動支援	拡充	0	0	0	0	0	0	0	0	A	食生活改善推進員協議会が、食育を目的とした教育を実施。調理実習等を実施し、その様子をまとめ、県等へ報告を行った。	0	総合保健センター	
7 地域活動栄養士会との協働	拡充	0	0	45	14	45	14	45	0	B	地域活動栄養士の会と共催事業を実施し、食育の推進を図った。 ・実施回数 2回 参加者 20組	3	総合保健センター	
8 マタニティクッキング・離乳食教室・おやつと歯みがき教室・2歳児親子歯科健診での展開	拡充	-	-	-	-	-	-	-	-	A	妊娠期から幼児期まで、各ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通じた健康づくりの支援を行った。	-	総合保健センター	

1 - (3) 思春期保健対策の充実

(網掛) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度 of 取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額									
1 薬物乱用防止啓発	継続	165	24	126	95	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を図った。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(所沢駅周辺)に参画した。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のための講師を派遣した。派遣回数5回 受講者数648人	104	104	A	・保健所窓口や健康まつりにおいて、各種のリーフレット等を配布し啓発を行う予定。 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン(本川越駅周辺)を行う予定。 ・小中学校等の開催する薬物乱用防止講演会のための講師を派遣する予定。	64	保健総務課		
		0	0	0	0	全市立学校で薬物乱用防止教室を開催し、児童生徒へ啓発を図った。 小学校33校、中学校22校、 養護学校1校、高等学校1校 計57校	0	0	A	全市立学校における薬物乱用防止教室の開催 薬物乱用防止教育の指導の工夫	0	教育指導課		
2 思春期保健相談	新規	306	306	561	487	・思春期の体の相談室 (8回/年実施 相談者14名) ・高校等への出前講座 (2回/年実施 参加者96名) ・思春期保健講座 (4回実施 参加者累計153名)	396	264	A	・電話等による思春期相談に随時対応していく ・中学・高校・大学への出前講座 (10回/年実施予定) ・思春期保健講座 (5回/年開催予定)	0	保健予防課		
		0	0	0	0	随時、電話等で思春期の保健相談に対応。	0	0	C	学校保健分野の関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	0	総合保健センター		
3 子育て体験学習	新規	0	0	0	0	未実施	0	0	D	関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	0	総合保健センター		
4 中学生の健康教育	継続	0	0	0	0	学校からの依頼により、それぞれのテーマに沿った内容の講義、実習を実施する。	0	0	C	関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	0	総合保健センター		
5 飲酒・喫煙防止対策	拡充	0	0	0	0	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成し、啓発活動を実施した。	25	24	A	今後も啓発活動を強化していく。	25	総合保健センター		
6 性感染症対策	継続	0	0	33,000	33,000	・性感染症検査・相談及び即日検査 (月3回実施 受検者800名) ・エイズを含む性感染症予防啓発事業 (世界エイズデー パネル展示) (教員向け性感染症予防スライド作成・配布)	0	0	A	・性感染症検査・相談及び即日検査 (月3回実施予定) ・エイズ関連講座(1回/年 開催予定) ・エイズを含む性感染症予防啓発事業 (エイズ検査普及週間や世界エイズデーにポケットティッシュを配布)	0	保健予防課		

1-(4) 小児医療の充実

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度 of 取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額								
1 小児救急医療対策事業	継続	0	0	0	0	・川越市小児救急医療運営補助金の交付の対象となる埼玉医科大学総合医療センターの小児の第二次救急医療体制における位置付けが、埼玉県意向により平成17年度から小児救急医療拠点病院に変更されたことに伴い、埼玉県のみ補助対象事業となり、本市の補助金の交付事務はなくなった。	0	0	A	・当該事業については現在、左記の理由により市が主体となって事業を実施していない。 ・小児初期救急医療体制病院で対応可能な患者についても、第二次救急医療体制病院である埼玉医科大学総合医療センターへ駆けつけるケースが多く見られ、第二次救急病院としての機能が阻害されている状況にあることから、かかりつけ医制度の定着に力を入れていきたい。 ・事業目標:拠点病院の存続(1病院)	0	保健医療推進課	
2 休日急患・小児夜間診療事業	継続	62,539	59,630	45,755	44,794	診療日数245日 患者数5,029人	45,889	44,542	A	小児の初期救急医療を確保するため、本年度も休日及び夜間に小児科の診療を行う。	45,698	診療所	
3 未熟児養育医療給付	継続	83,747	80,685	21,778	21,499	養育のため、指定養育医療機関に入院した未熟児に対し、その養育に必要な医療給付を行った。 ・受給者数 91人	75,454	16,596	A	未熟児に対して、養育のため指定養育医療機関に入院入院が必要な場合、その養育に必要な医療給付を行う。	20,818	総合保健センター	
4 身体障害児育成医療給付等 自立支援医療(育成医療)に名称変更	継続	-	-	8,876	5,617	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 97人	-	5,883	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療の給付を行う。	5,680	総合保健センター	
5 結核児童療育医療給付 結核児童療育給付に名称変更	継続	-	-	483	143	結核児童に対して、その児童の心身両面にわたる健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療等の給付を行った。 ・受給者数 1人	-	1,406	A	結核児童に対して、その児童の心身両面にわたる健全育成・福祉向上を図るため、必要な医療等の給付を行う。	129	総合保健センター	
6 小児慢性特定疾患医療給付	継続	-	-	49,548	37,769	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について必要な医療の給付を行った。 ・受給者数 242人	-	41,485	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行う。	38,823	総合保健センター	

(2)基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

2-(1) 次代の親の育成

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 男女平等教育研修会	継続	180	167	170	71	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催した。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努めた。	103	103	A	教職員を対象に、男女共同参画社会の実現についての講演会を開催する。 教師用リーフレット「男女平等教育の推進」を作成し、啓発に努める。	103	教育指導課 教育研究所
2 中学生社会体験事業	継続	1,320	1,320	1,320	1,320	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,811人 ・協力事業所 749社	1,320	1,320	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生きる力を育む。 ・参加生徒数 2,992名(予定)	1,558	教育指導課
3 子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	新規	-	-	-	-	未実施	-	-	D	関係機関との連携は図られていない状況であり、事業の実施、内容等について今後検討していく。	-	総合保健センター

2-(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

(網掛け) 重点施策

(進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	予算額	決算見込額	平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】	予算額	所管課
		予算額	決算額	予算額	決算額							
1 小・中学校への指導 (1-(2)-2の再掲)	継続	-	-	-	-	小学校2年生に対する食に関する指導 190回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 27回 各種広報誌の発行 6回	-	-	A	小学校2年生に対する食に関する指導 予定回数 198回 2,819人 小・中学校への食に関する指導 各種広報誌の発行 予定回数 6回	-	学校管理課
		-	-	-	-	家庭や地域との連携を図りながら、全ての学校教育活動において、児童生徒の生きる力を育んだ。	-	-	A	家庭や地域と連携を図り、全ての学校教育活動において、児童生徒の生きる力を育成する。	-	教育指導課
		-	-	-	-	小学校2年生に対する食に関する指導 190回 2,925人 小・中学校への食に関する指導 27回 各種広報誌の発行 6回	-	-	A	小学校2年生に対する食に関する指導 予定回数 198回 2,819人 小・中学校への食に関する指導 各種広報誌の発行 予定回数 6回	-	給食センター
2 子ども情報提供事業	継続	1,080	774	1,080	756	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて家庭に配布	907	711	A	川越市子ども情報誌「小江戸探検隊」を年4回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて家庭に配布	900	生涯学習課
3 臨床心理士配置事業	新規	1,395	1,364	1,395	1,395	教育総合相談センター(リベアラ)に1人配置し、学校やリベアラにおける相談活動の指導、助言を行った。 ・相談件数 259件	1,373	1,373	A	教育総合相談センター(リベアラ)に1人配置し、学校やリベアラにおける相談活動の指導、助言を行う。	1,373	教育研究所
4 川越市さわやか相談員配置事業 (平成19年度から名称変更)	継続	9,010	8,973	9,911	9,805	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校22校に22人配置 ・相談者延べ人数 15709人	25,186	25,096	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施する。 ・中学校22校に22人配置	27,759	教育研究所

5	学校カウンセリング研修事業	継続	185	127	175	151	教職員や川越市さわやか相談員への研修を実施した。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回	175	161	A	教職員や川越市さわやか相談員への研修を実施する。 ・学校教育相談コンサルテーション研修会...2回 ・学校カウンセリング初級研修会...3回 同中級...9回 ・特色あるさわやか相談室づくり研修会...3回	252	教育研究所
6	適応指導教室	継続	1,140	1,008	2,104	2,104	総合教育相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。 ・通室 中学生13人	30	30	A	総合教育相談センターにおいて、不登校児童生徒への、学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施する。 ・通室 中学生3人	25	教育研究所
7	総合的な学習の時間の支援	継続	0	0	0	0	学校への訪問指導	0	0	A	学校への訪問指導	0	教育指導課
			5	0	10	5	特色ある学校づくり研修会[総合的な学習の時間]を実施し、総合的な学習の時間の充実に向けた支援を行った。 研修日数 2日 参加人数 55人 参加の部人数 110人	20	18	(D A)	特色ある学校づくり研修会[総合的な学習の時間]を実施し、総合的な学習の時間の充実に向けた支援を行う。 研修日数 2日 参加人数 55人 参加の部人数 110人	20	教育研究所
8	川越市教職員研修事業	拡充	6,837	3,827	5,696	4,755	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を研修講座数 84 研修日数 210日 参加者数 2752人 参加延べ人数 5424人 主な内容は年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	6,388	4,433	A	川越市立学校(小・中・高・養護)の教職員を研修講座数 82 研修日数 283日 参加者数 2637人 参加延べ人数 5873人 主な内容は年次研修・職能別研修・重点研修・奨励研修など	6,652	教育研究所
9	指導方法の工夫改善、少人数学級	拡充	0	0	0	0	市内全小中学校に、県費による指導法工夫改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチームティーチングで実施している。 加配教員数小学校49人、中学校33人	0	0	A	市内全小中学校に、県費による指導法工夫改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチームティーチングで実施する。	0	教育指導課
			16,439	15,828	29,098	27,645	対象学年における1学級あたりの人数が多い学級において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置した。 少人数学級のための臨時講師 8名	31,135	28,375	A	対象学年における1学級あたりの人数が多い学級において、市独自の少人数学級編制を行い、1学級増になった学校に、市費採用の臨時講師を配置する。 少人数学級のための臨時講師 10名	38,478	学校管理課
10	教育副読本の整備	継続	4,899	4,437	4,898	4,048	小学校3・4年生の社会科の副読本を整備した。	4,696	4,048	A	小学校3・4年生の社会科の副読本を整備する。	4,694	教育指導課

11	中学校社会体験事業 (2-(1)-2の再掲)	継続	-	-	-	-	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、 勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生 きる力を育むことができた。 ・参加生徒数 2,811人 ・協力事業所 749社	-	-	A	体験活動や多くの人とのふれあいを通して、 勤労観や社会性、自律心を養い、豊かに生 きる力を育む。 ・参加生徒数 2992名(予定)	-	教育指導課
12	国際理解教育	継続	30	30	30	30	小学校における総合的な学習の時間等の 国際理解教育・英語活動の充実のための研 修会を実施する。 ・国際理解教育研修会2回 参加者88人	20	20	A	小学校における総合的な学習時間等の国 際理解教育・英語活動の充実と中学校英語 教育との連携を図るための研修会を実施す ・国際理解教育研修会3回	20	教育研究所
13	情報教育	継続	109,270	93,296	115,482	84,754	情報教育について研修会を実施するととも に、コンピュータ等情報教育機器の整備、研 究資料の作成を行う。 小学校33校 811台 中学校22校 946台 小学校25校及び小中55校の校務用(各校1台)の更新 やさしいパソコン操作研修会他4研修会 8回	136,152	125,309	B	情報教育について研修会を実施するととも に、コンピュータ等情報教育機器の整備、研 究資料の作成を行う。 小学校33校 811台 中学校22校 946台 教育研究所研修室のパソコン更新 やさしいパソコン操作研修会他4研修会 校内LAN等の整備計画	150,181	教育研究所
14	土曜体験教室	継続	60	60	60	36	学校週5日制において、子どもたちに豊かな 体験の場を提供した。 21回 延べ1,323人	60	54	A	学校週5日制において、子どもたちに豊かな 体験の場を提供する。	60	博物館
15	子ども博物館教室	継続	54	36	54	30	子どもたちに博物館に親んでもらうとともに 身近な川越の歴史や文化財への理解や関 心を深めた。 3回 延べ89人	18	18	A	子どもたちに博物館に親んでもらうとともに 身近な川越の歴史や文化財への理解や関 心を深める。	18	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	12	12	12	12	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り 学校教育と連動した学習や体験の場を提供 した。 3回 延べ155人	12	6	A	夏季休業日を活用して、学校との連携を図り 学校教育と連動した学習や体験の場を提供 する。	12	博物館
17	昔の遊び	継続	0	0	0	0	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、 当時の人々のくらしや文化に親しむ機械を 提供した。 2回 延べ279人	0	0	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、 当時の人々のくらしや文化に親しむ機械を 提供する。	0	博物館
18	ミュージアムシアター	継続	0	0	0	0	予定なし	0	0	D	予定なし	0	博物館
19	人権教育	継続	675	391	675	369	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行。 「いのち・こころを大切に作る絵画展」を3日 間開催。	521 179	266 123	A	人権作文集「あけぼの」を3,200部発行予 定。「いのち・こころを大切に作る絵画展」を 3日間開催予定。	521 179	生涯学習課
20	人権啓発事業	継続	0	0	0	0	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消 に向けた啓発をさまざまな機会を利用して 行った。	0	0	A	人権意識の高揚と差別意識や偏見の解消 に向けた啓発をさまざまな機会を利用して 行う。	0	人権推進課

21	学校部活動補助事業	継続	3,200	3,180	3,200	3,186	部活動加入率92.6% 学年・学級の枠を越えての自主的な活動により仲間とのふれあいを深め、協調性、責任感等を培い、豊かな人間性の育成等、教育的な意義があった。	3,200	3,182	A	部活動は生徒の健全育成、体力の向上の観点から教育的価値は大変大きいものである。外部指導者や地域との連携を図るとともに生徒や学校の要望に応えられる部活動運営に努める。	3,200	教育指導課
22	公立学校施設の整備	継続	1,215,829	660,377	2,094,990	1,617,599	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・設備等の改善改修を行った	617,338	568,394	A (C A)	学校施設の耐震性能の向上を図るとともに、施設・整備等の改善改修を行う	591,380	教育財務課
23	幼児教育振興プログラムの策定	新規	0	0	0	0	策定を完了した。	0	0	A (B A)	終了	0	教育指導課
24	育児関連講座	継続	1,246	1,246	833	609	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供した。 16講座 72回 参加者延べ1,254人	693	693	A (B A)	育児に関する情報や親子でふれあいを深める学習機会を提供する。	446	中央公民館
25	幼保小連絡懇談会の実施	継続	30	26	30	25	「様々な遊びや活動をとおして、基礎的な体力をどう身に付けさせていくか。」をテーマに幼稚園・保育所・小学校の教員の参加のもと開催した。内容 レポート提案 グループ協議	30	25	A	「様々な遊びや活動をとおして、基礎的な体力をどう身に付けさせていくか。」をテーマに幼稚園・保育所・小学校の教員の参加のもと開催する。	30	教育指導課
26	川越市子ども読書活動推進計画の策定・推進	新規	0	0	0	0	計画に基づき、各施策を実施した。	0	0	B	関係諸機関及び関係者が協力して読書活動を推進する体制を整備する。	0	教育指導課
27	学校図書館図書整備	拡充	28,711	28,483	29,857	29,788	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 ・達成率 小学校63.0% 中学校72.3%	30,737	30,082	C	引き続き「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努める。	31,150	教育指導課
28	小江戸読書マラソン事業	継続	445	139	440	139	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡した。 ・参加児童数18260名 認定数8470名	440	139	A	小学校全児童に対して読書マラソンカードを配布し、30冊以上読んだ児童に認定証を渡す。	179	教育指導課
29	小江戸中学生読書手帳事業	継続	217,000	127,875	171	128	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。 ・活用している15校 ・あまり活用していない17校	171	128	B	中学校1年生に対して、推薦図書を紹介した手帳を配布し、読書活動の啓発を実施した。活用をさらに進めるとともに、様式や実施方法について改善案を検討する。	140	教育指導課

2 - (3) 家庭や地域の教育力の向上 (網掛け) 重点施策 (進捗状況) A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了 (単位:千円)

事業名	目標	平成17年度		平成18年度		平成19年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】		平成19年度末 の進捗状況	平成20年度の取組・課題等 【平成21年度目標事業量】		所管課	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算見込額		予算額			
1 教育相談・就学相談事業	継続	1,972	1,964	2,292	2,194	子どもの教育に関すること、学校生活、発達や就学に関する相談に応じた。 ・教育総合相談センターの相談件数 延べ3385件 ・川越市就学支援委員会(委員25名) 相談対象202名(181名に就学先判断)	2,412	1,951	A	子どもの教育に関すること、学校生活、発達や就学に関する相談に応じる。 ・川越市就学支援委員会(25名予定)	2,320	教育研究所
2 不登校児童生徒保護者セミナー	継続	0	0	0	0	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じた。 ・3回実施 ・8名参加	0	0	A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じる。 ・3回実施予定	0	教育研究所

3	学習相談	継続	1,165	1,033	1,149	912	高階北学習情報館に学習相談員を配置し学習相談を行った。	1,383	1,134	E (B E)	高階北学習情報館の廃止により終了。	0	生涯学習課
4	家庭教育学級	継続	2,200	2,200	2,160	2,160	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託した。 54校PTA	2,160	2,160	A	保護者に対して家庭教育に関する学習機会を提供するため、PTAに家庭教育に関する講座の実施を委託する。 54校PTA	2,160	生涯学習課
5	家庭教育講座	拡充	1,876	1,395	1,600	1,553	家庭教育に関する講演会や学習会を実施した。 23講座 127回 参加者延べ2,908人	1,595	1,437	A	家庭教育に関する講演会や学習会を実施する。	1,906	中央公民館
6	総合型地域スポーツクラブ	拡充	350	350	300	300	地域住民が主体的・自主的に事業を企画運営し、総合型地域スポーツクラブの育成に努力した。平成19年度は、11の教室や大会等を開催し、983名の参加者数を得た。	300	300	B	地域住民の主体的・自主的な運営を目指し人的・物的な支援は継続して行うが、段階的に減少させていく。新たに1箇所設置できるよう準備を進める。	300	市民スポーツ課
7	スポーツ少年団	継続	500	500	600	600	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催した。 参加者数合計3,777名	700	700	A	子どもたちに、多くの種目のスポーツを経験させ、体力の向上を図るため、体育祭や体力テスト会を開催する。	700	市民スポーツ課
8	学校体育施設開放事業	継続	13,215	13,215	12,576	12,576	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小学校及び中学校の体育施設を住民に開放した。学校体育施設開放参加人数448,694名。霞ヶ関北小プール開放参加人数3,669名。学校プール開放参加人数71名。	13,487	13,487	A	地域住民のスポーツやレクリエーション活動の場の確保を図るため、市内の小学校及び中学校の体育施設を住民に開放する。	13,855	市民スポーツ課
9	人材バンク	新規	子どもサポート推進事業予算の一部	子どもサポート推進事業予算の一部	子どもサポート推進事業予算の一部	子どもサポート推進事業の取組の一環として市内14地区ごとに人材バンクを設置する。登録した人材が幅広く活用されるようになってきたが、地区によりまだ充分でないところもある。	子どもサポート推進事業予算の一部			B (C B)	登録した人材を、地区事業の中だけでなく、学校支援ボランティアとして活用していく。	子どもサポート推進事業予算の一部	生涯学習課
10	学生ボランティアの活用	新規	200	80	200	150	市内3つの大学と連携して、小中学生の活動を計画支援してもらうことができた。大学生にも数多くボランティアとして参加してもらった。また、地区サポート委員会の活動にも参加してもらうことができた。	200	150	B	3大学との連携は継続し、残りの1つの大学との連携事業を実施する。より多くの大学生に事業やサポート委員会の活動に参加してもらう。	200	生涯学習課
11	出前講座	新規	0	0	0	0	PTA家庭教育学級や公民館事業において、人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣した。	0	0	A (B A)	PTA家庭教育学級や公民館事業において、人権教育の講座を実施する際には、生涯学習課人権教育担当の職員を講師として派遣する。	0	生涯学習課
12	エコチャレンジファミリー認定事業	継続	197	197	89	85	・エコチャレンジファミリーとして19家族を認定 ・省エネワークブックコースで101名を認定	67	0	A	・参加者確保のため、さんぱく等のイベント、出前講座、広報などでPR ・省エネワークブックコースの充実 ・機器の購入による受け入れ態勢の強化	112	環境政策課
13	市民環境調査	継続	140	17	134	78	「レモンの雨がふってくる(酸性雨調査)」を実施した。 【1回実施 参加者数17人】	115	14	A	「セミのぬけがら調査」を実施予定	192	環境政策課
14	星空観察の集い	継続	53	52	53	33	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施した。 ・夏期参加者数 44人 ・冬期参加者数 43人	64	64	A	児童センターこどもの城にて、夏期と冬期に実施予定	57	環境政策課

15	省エネ・新エネフェアin産博 「環境展inさんぱく」へ名称変更	継続	0	0	0	0	284名参加 ・私の省エネ宣言(アンケート形式の省エネ行動の啓発) ・エコチャレンジファミリーの募集 ・太陽光発電システム導入実績・補助事業の成果等パネル展示 ・環境月間ポスターコンクール優秀作品の展覧会	95	34	A	・参加型学習スペースの設置 ・エコチャレンジファミリーの募集 ・太陽光発電システム導入実績・補助事業の成果等パネル展示	95	環境政策課
16	環境ふれあい教室(水生生物調査)	継続	97	17	97	81	水生生物の生息状況を調べて、川の水質を知ることにより、水辺への親しみや身近な環境問題に関心を高めてもらう機会をつくる。 環境ふれあい教室 1回11人	105	86	A	川越市で行なっている水質や大気等の調査を実際に体験することにより、環境問題への関心を高めてもらう機会をつくる。 環境ふれあい教室 1回25人予定	104	環境保全課
17	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続	99	71	198	56	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材を利用した工作教室を実施した。 参加者 8月21日 26人 8月22日 16人	228	62	A	市内の小学生の親子を対象に参加者を募集し、借り上げバスにてごみ処理施設の見学及びごみとして排出された廃材を利用して工作教室を実施する。	228	資源循環推進課
18	市民の森	継続	8,616	8,382	8,272	8,161	(1)維持管理 清掃(週1回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第9号等ほか1箇所整備工事	8,088	7,498	A	(1)維持管理 清掃(月3回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修等工事	8,083	環境政策課
19	子どもエコクラブ	継続	276	182	210	131	会員募集のほか、市主催のイベントを実施した。登録数:4クラブ、105会員 ・研修会 参加者数 21人 ・交流会 参加者数 25人 ・発表会 参加 1クラブ、9人	145	138	B	会員募集のほか、市主催のイベントを実施予定	177	環境政策課
20	エコチャレンジスクール	継続	210	208	180	73	第2期の取組を終了した小・中17校と第1期の取組を終了した川越養護学校川越高等学校が再申請を行い、エコチャレンジスクールに認定された。 ・環境教育資料冊子(エコチャレンジスクール認定事業平成18・19年度実践校報告書(平成18年度認定校))	165	37	A	第2期の取組を終了した小・中38校が再申請をし、今後審査を行う予定。 ・環境教育資料冊子(エコチャレンジスクール認定事業平成19・20年度実践校報告書(平成19年度認定校))	165	教育研究所